

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こらぼねっと京都 こらぼねっと京都自立支援センター（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同室の療育を行っていることで、小集団の中での自分の子どもの様子を理解してもらいやすかったり、実際に子どものことを見ながら対応などの話ができる機会がある。	療育の中で、子どもの言動について見てもらい、対応についてのアドバイスをを行うようにしている。	保護者と話したことなどを担当指導員同士で共有する。子どもの対応については、担当者会議で話し合い、将来や少し先を見越した成長につながる支援を考える。
2	期間限定、回数限定ではあるが、小集団療育にプラスして個別に言語訓練を行っている。	療育担当者と訓練担当者で子どもの情報を共有している。個別訓練で成長した所を療育でも活かせるように話し合いをしている。	訓練としては、今は言語訓練のみだが、今後は個別に作業療法を入れていく。
3	確立されたプログラムがある音楽活動を取り入れている。 見通しを持って活動できたり、集団参加や気持ちや行動のコントロールができるように、また、身体機能を促進し、言語発達など、様々な成長を目指している。	その子なりの参加の仕方を大切にしている。小集団活動を提供している中で、その子に合わせて個別に対応している。自己選択、自己決定を促し、困った時にどうすればよいかなどを具体的に伝えている。	指導員がプログラムの研修を受け、自己研鑽をする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多くの保護者の要望がないため、保護者会はない。 保護者全体が集う場は設けていない。	保護者同室での療育内で保護者同士の話し合える場を設けている。	保護者の要望があれば、保護者が悩みを相談し合える機会を作るよう検討する。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加できる研修会や情報共有の機会がほばない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会を月1回行なっているが、周知されていない。 家族支援は個別に行っている。 集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。	誰でもが参加できる音楽活動の定例会について、周知する。 家族支援に関しては、今後も個別に対応する。
3	保育所や認定こども園、幼稚園との交流など、地域で他の子どもと活動する機会はない。	週1回の療育の中では、地域との交流の機会を作ることは難しい。	今後も予定はしていない。